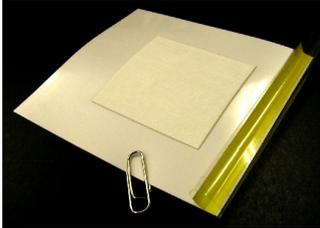


「サニ太くん」を使った落下菌検査方法

- 落下菌検査は食品衛生規範によると汚染作業区域によって一般生菌、真菌の検査をします。放置時間も汚染作業区域によって異なりますが5分～20分です。しかし、放置時間を長くした方が（30分以上）、より正確なデータを得ることができます。

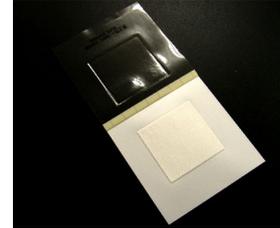
- ① 検査箇所の下写真のようにカバーフィルムを開けたまま一定時間放置します。



開いたカバーフィルムをクリップで固定します。

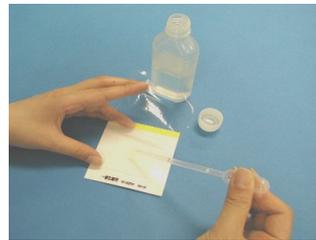


開いたカバーフィルムをテープで固定します。



カラーテープのカバーフィルム接着部分で折り目をつけて開放します。

- ② 放置しておいた「サニ太くん」のパット部分に滅菌生理食塩水を1ml添加します。

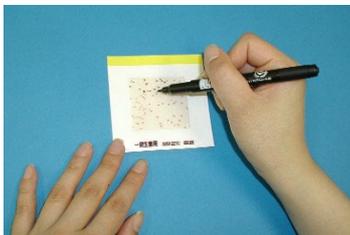


- ③ 培養器に入れて培養します。

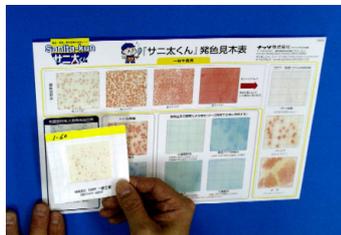
一般生菌用 ; 35°C48時間
真菌用迅速タイプ ; 25°C48時間



- ④ 判定します。



マジックでコロニーをマーキングして菌数を数えます。



発色見本表を使って菌数を判定します。

必要となる検査器材

- ・サニ太くん
- ・滅菌希釈液
- ・培養器
- ・滅菌スポイド